

守山の「高齢者福祉」の魅力を探る

介護設備をはじめ、高齢者が快適に楽しく過ごせる工夫がたくさんありました



デイサービス ラポール
管理者 兼松 利之さん



モリヤマジュニアリポーターは守山の魅力について、テーマの検討から現地でのインタビュー、写真撮影、執筆まで行い、小学生リポーター独自の目線で紹介するコーナーです。

①利用者の作った作品のアルバムをスタッフが紹介 ②③送迎車両の機能に感動 ④～⑦介助の手伝いをしながら利用者との交流 ⑧⑨車いすの操作を体験 ⑩⑪介護用の楽ちん入浴機械を体験 ⑫兼松さんにインタビュー ⑬～⑮利用者に合わせた食事メニューやえん下を助ける工夫に驚き

今回は、市内の「デイサービスラポール」の取材を通して、介護を受けながら、居場所としても楽しい時間を過ごせる福祉サービス「地域密着型通所介護（デイサービス）」についてレポートします。

福祉サービスとは「みんなで支えあい、誰もが安心して暮らすために必要なサポートを提供するサービス」のことです。

超高齢社会が社会問題となっています。令和8年1月1日時点の守山市の人口は8万6,135人。このうち1万9,544人は65歳以上の高齢者で、高齢化率は22・69%です。守山の高齢化率は全国平均より少し低いですが、およそ4人に1人が高齢者という現状です。

年齢を重ねてきた高齢者を支える福祉サービスの一つが「地域密着型通所介護（デイサービス）」です。

今回、取材したデイサービスラポールでは、身体に衰えや不自由がある高齢者にも安全・安心に過ごしてもらったための特別な送迎車両や入浴設備などを見学。それとともに、施設の壁紙一つまで明るく穏やかな雰囲気になるものを選び、利用者一人ひとりの状態に気を配りながら、声かけや食事の用意をするスタッフの様子や、利用者と接する際の工夫などを教えてもらいました。

利用者と交流しながらのインタビューにも挑戦。「仲間がいて楽しい」と笑顔で話す高齢者から、デイサービスは、入浴などの介護を受けるだけでなく、大切な居場所になっていることを学びました。



高齢者にとっての福祉

清水 聡真

高齢者にとっての福祉とは、お年寄りが安心して毎日を過ごすための大切な助けです。歳をとって体が動かしにくくなっても、介護サービスや見守りの人がいると安全です。

デイサービスで友達と話したり、町の人と助けあうことでさみしが減り元気になります。道に段差が少ないことや、相談できる場所があると家族も安心できます。

みんなが優しいまちをつくりたいです。デイサービスは本当に大切です。



すごいぞ、デイサービス

奥野 純心

デイサービスラポールは、いろいろな工夫がされている高齢者福祉施設です。例えば、施設内には手すりも多く取り付けられていたり、車いすも通れるような広い廊下になっていたりしました。他にも、食事は利用者さんの体調に合わせて白ご飯をおかゆにして食べやすくするなど、さまざまな工夫がラポールにはあります。管理者さんは「利用者さんの顔を見ながら話したり、笑顔で接することを日々心がけています」と話していました。



ラポールのお年寄り

内田 弦汰

今回は、デイサービスラポールについて記事にします。

まずデイサービスというのは、簡単にいうと介護保険サービスの一つです。ラポールを利用するお年寄りは、お風呂に入ってもらえるし、ご飯も食べられるので、この施設はありがたいとおっしゃっていました。施設で働く人は、笑顔と、大きくゆつくり話すことがモットーだそうです。

自分も年をとったら、ラポールのよう楽しい施設に通いたいです。



デイサービスの楽しさの秘けつ

永井 里佳

デイサービスラポールの利用者さんはとても楽しそうに話してみると、とてもいきいきしていました。

この施設がなぜこんなにいい施設なのか職員さんに秘けつを聞いてみました。一つ目は言葉を優しく、あたたかく、丁寧に行っていることです。二つ目は利用者の顔、声、様子を常にチェックしながら接しているということです。

デイサービスラポールは職員一人ひとりの工夫によって、利用する高齢者の人に楽しい安心できる時間を作っていました。



図書館協議会委員を募集

図書館運営について広く意見をお聴きするため、委員を募集します。

任期 4月1日～令和10年3月31日(2年間)

- 対象**・市内在住・在学・在勤の18歳以上
- ・家庭教育の向上に資する活動を行い、図書館を利用している
 - ・市の他の審議会などに在籍していない

定員2人以内(選考)

選考方法

- ・作文(700字以内。様式指定)
テーマ「本との出会い、きっかけづくりと守山市立図書館の役割について」

・面接

時3月11日(水) ※時間は応募者に連絡します。

所市立図書館

用3月10日(火)正午までに応募書と作文をメールまたは直接、下記へ。応募書と作文の様式は、下記または地区会館に設置。または下記HPからDL。メールの場合は、件名を「協議会委員募集」としてください。

他・協議会は、年3回程度開催。

- ・協議会への出席1回につき、既定の報酬を支払います。
- ・右記HPで詳細を確認のうえ、応募してください。



市立図書館
ホームページ

岡市立図書館

☎・有(583)1639 FAX(583)6949

✉toshokan@city.moriyama.lg.jp

景観審議会委員を募集

良好な景観形成をより一層推進するため、景観に関する調査審議を行う景観審議会の委員を募集します。

任期

4月1日～令和10年3月31日(2年間)

対象景観計画の見直しや屋外広告物の許可基準の見直しなどの審議、大規模建築物の景観審議など
※審議すべき案件がある場合に随時、審議会を開催

対象市内在住・在学・在勤で、年1～2回程度開催する平日の会議に参加でき、本市の景観に関心がある18歳以上

定員1人(選考)

用2月20日(金)～3月6日(金)に応募理由(市の景観形成についての思い含む)について400～800字程度(形式自由)にまとめ、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、郵送(消印有効)、メールまたは直接、下記へ。

※市外在住の人は、勤務先または就学先の名称・所在地・電話番号も必要

他報酬あり(会議参加1回につき6,000円)。選考結果は3月中旬までに応募者全員に通知します。

問〒524-8585 吉身二丁目5-22

都市計画・交通政策課

☎・有(582)1132 FAX(582)6947

✉toshikeikaku@city.moriyama.lg.jp

第4回 人権尊重のまちづくり審議会 傍聴者募集

時2月25日(水)午前10時～11時30分

※開会10分前までに、会場へお越しください。

所市役所 31・32会議室

- 内**・第4次守山市人権尊重のまちづくり総合推進計画(改定版)の報告
- ・自治会における人権・同和問題学習会の実施状況(中間報告)
 - ・令和8年度の啓発テーマ

定員5人

岡人権政策課

☎・有(582)1116 FAX(582)0539

第4回 男女共同参画審議会 傍聴者募集

時2月24日(火)午後2時～3時30分

※開会10分前までに、会場へお越しください。

所市役所 3階 31・32会議室

- 内**・第4次守山市男女共同参画計画(改定版)の報告
- ・守山市男女共同参画事業(令和7年度報告、令和8年度計画)

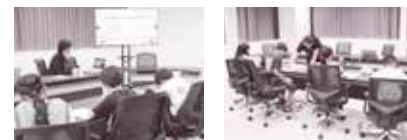
定員5人

岡人権政策課

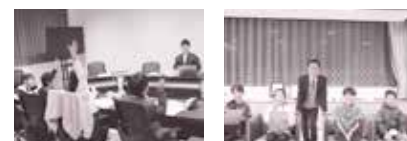
☎・有(582)1116 FAX(582)0539

1年間の活動

- 顔合わせ
アイデア出しゲーム
市民ホールの事前学習・模擬取材



- 市民ホールで取材本番
- 記事執筆・推こう
- 10月15日号掲載



- 高齢者福祉の事前学習・模擬取材
- 守山市長のインタビュー体験
- デイサービス ラポールで取材本番
- 記事執筆・推こう
- 感謝状授与
- 2月15日号掲載

広報担当者の
つぶやき



5月から始まって、これまでメキメキと文章力があがって驚きました。子どもってすごいなあと感じました。



「モリヤマジュニアリポーター」は、新鮮な感性を持つ小学生の目線で守山の魅力を発信してもらうとともに、子どもたち自身にも守山をもっと好きになってもらうための企画です。また、企画から、取材、執筆、編集までページ制作に参加することで、普段できない体験や学びにつなげてほしいと考えて取り組んでいるものです。

モリヤマジュニアリポーターに参加してくれた児童4人は、編集会議で取材の仕方や執筆を学びながら、1回目「市民ホール」、2回目「デイサービス ラポール」と取材テーマに関する事前学習や写真撮影、記事編集に関わりました。

取材本番におけるインタビューや体当たり体験を通じて、自分なりの執筆テーマとタイトルで記事を書き上げ、広報もりやまに掲載。最後には、守山市から感謝状を贈りました。

守山の魅力をたくさん知りました

モリヤマジュニアリポーターミッションを修了

1年間のリポーター活動を振り返って



取材など普段はできない貴重な体験ができました。デイサービスのお年寄りには、もう少し話題を考えたり、大きな声でしゃべれたらよかったかなと思います。自分の書いた文章を推こうするのは難しかったけれど楽しかったです。

内田 弦汰さん(6年)



取材は楽しかったけれども、記事にするのは難しかったです。記事と作文の違いも分かりました。市民ホールでは照明さんや舞台監督さんなどの仕事を教えてもらって、舞台鑑賞の裏にこんな努力があるのだと知りました。

清水 聡真さん(5年)



ジュニアリポーターで過ごした時間はとても楽しかったです。色々な人のお話を聞いて、自分の世界が広がりました。ジュニアリポーターを通して記事や取材のやり方などを知り、成長できました。たった名刺は私の宝物です。

永井 里佳さん(6年)



初めはあまり上手に書くことができなかったけど、書いていくうちに上手になってきました。あと、身近なルールやマナーも身につきました。文章に興味を持ったので、これからたくさん文章を書いていきたいと思いました。

奥野 純心さん(5年)